

地域医療連携だより

やまびこ

発行日：平成 28 年 10 月 発行：高山赤十字病院 高山市天満町3丁目11番地 TEL 0577-32-1111 発行責任者：地域連携課

地域連携ITシステムのごあんない



Certified Diabetes Educator GIFU
地域糖尿病療法指導士の育成



- 産婦人科病棟における薬剤師の活動
- 新任医師の紹介

地域医療連携ITシステム がはじまります

医療を取り巻く情勢

当院では、2002年（平成14年）に院内全体の情報共有として、電子カルテシステムを導入、2012年（平成24年）には、電子カルテシステムのリプレイスを行いました。その間にも、高齢化社会の急速な進行、生活習慣病の増大、医師や看護師の不足といった医療環境の変化があり、また、一方で包括医療費支払制度（DPC）の導入や在院日数の短縮化といった医療制度の変革もありました。

そのような情勢の中で、地域医療の課題として、病院・診療所における役割分担の明確化や地域における診療情報の共有がうたわれ、病院完結型医療から地域完結型医療への転換を図ることが急務とされています。

概 要

高山赤十字病院では、他の医療機関との間における情報連携の推進を目的として、平成29年2月の地域医療連携ITシステム稼働に向けて、取り組むこととしました。

インターネットを通じて外部から当院の診療記録を閲覧できるようにするもので、紹介元の医療機関におきましては、**タイムリーに診療情報を把握することができるようになります。**

導 入

閲覧するためには、**利用者IDとパスワードが必要です。**

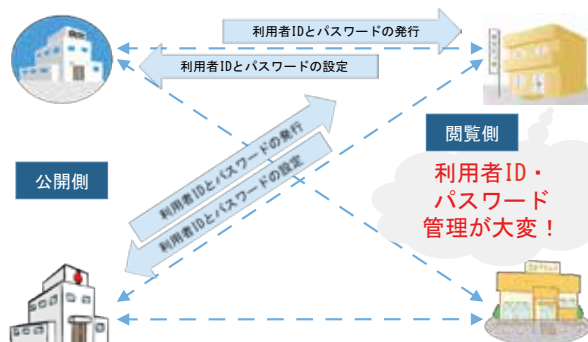
利用者IDとパスワードは、閲覧する医療機関が増えるたびに取得することになり、管理が煩雑になります。その改善策として、岐阜県地域医療連携ネットワーク協議会が運営する「ぎふ清流ネット」の活用を検討しています。

インターネットを通じた医療情報の共有の仕組み



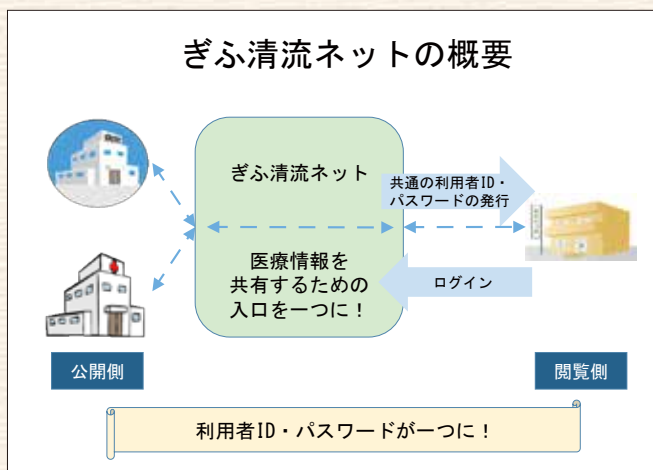
【図1】インターネットを通じた医療情報の共有の仕組み参照

複数の医療機関の情報を閲覧しようとする



【図2】複数の医療機関の情報を閲覧しようとする参照

「ぎふ清流ネット」を活用することで入り口が一つになり、利用者IDとパスワードも一つにすることができます。



【図3】「ぎふ清流ネットの概要」参照

ご利用の手続き

地域医療連携ITシステムと「ぎふ清流ネット」をご利用になるためには、いくつかの手続きが必要です。

まずは、インターネット環境の整備です。

「ぎふ清流ネット」にログインするための利用者IDとパスワードの取得には、**運用講習会の受講が必須**であるほか、利用申込書の提出が必要です。

閲覧する医療機関に必要な事項

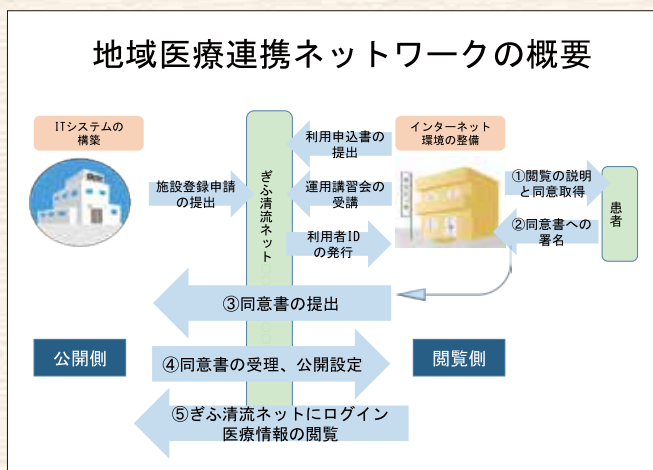
- インターネット環境の整備
- ぎふ清流ネットの運用講習会の受講
- 利用者ID・パスワードの取得
- ぎふ清流ネットへの利用申込書の提出
- 患者への閲覧の説明と同意書の取得

【図4】「閲覧する医療機関に必要な事項」参照

閲覧の手続き

閲覧には、患者への説明と同意書の署名が必要となります。

この同意書を公開施設である高山赤十字病院へご提出いただきますと、診療記録公開の設定をしますので、「ぎふ清流ネット」にログインして、同意をいただいた患者の診療情報を閲覧することができます。



【図5】「地域医療連携ネットワークの概要」参照

既に、岐阜県下では、6つの医療機関が「ぎふ清流ネット」を介して、診療情報を公開しています。（平成28年9月時点）このシステム導入により、地域の先生方と「より早く正確な医療情報の共有」を通じて、地域医療連携の充実に図りたいと考えております。どうぞご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

■ 参考 ■ ぎふ清流ネット ホームページ検索ワード：「ぎふ清流ネット」
ホームページアドレス ：<http://www.gifu.med.or.jp/seiryu.html>

Certified Diabetes Educator GIFU

職種の垣根を越えた 地域糖尿病療法指導士の育成

糖尿病の患者は年々増加傾向にあり、厚生労働省の統計※によると、「糖尿病が強く疑われる者」「糖尿病の可能性を否定できない者」の合計人数が、平成9年の1,370万人から、10年後の平成19年には2,210万人と、1.6倍強になっています。

糖尿病の重症化予防を目指そうとする国の方針に対し、しかしながら、糖尿病専門医の数は限られており、治療を受けるべき患者数との間には自ずと限界があります。

そこで、医師の指示の下で、患者に療養指導を行うことができる専門的な多職種による医療連携が必要という考えから、日本糖尿病療養指導士認定機構を設立（H12.02）、日本糖尿病療養指導士（CDEJ: Certified Diabetes Educator of Japan）が誕生しました。

のちに、裾野を広げる意味で、地域の糖尿病協会等による地域糖尿病療養指導士（CDEL: CDE

Local）の養成がなされ、岐阜県においても「CDE岐阜」が発足（H25.03）しています。

資格を有するには認定試験の受験がありますが、受験資格条件として講習・研修の受講が必要です。

CDE岐阜の飛騨地区部会の研修会は9月16日を皮切りに、16回開催する予定です。CDE岐阜の受験資格条件は、15単位取得（1講習1単位）のため、当年度は受験できませんが、単位は来年度に引き継ぐことができますので、途中参加でも大丈夫ですし、認定試験とは関係なく、糖尿病医療に興味のある方についても、研修会にご参加いただけます。

ぜひ、飛騨地域の糖尿病医療にお力添えくださいませんか。

※「平成24年国民健康・栄養調査結果の概要」より『Ⅱ結果の概要 第1章 2.「糖尿病が強く疑われる者」、「糖尿病の可能性を否定できない者」の推計人数』参照

開催日程や研修内容については、岐阜県糖尿病協会のホームページの『岐阜県CDEネットワークのご案内』からご確認ください。

■ 検索ワード ■

岐阜県 CDE

■ ホームページアドレス ■

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~int3/gifu-shibu/06lcde/index.html>



第一回研修会



市民健康まつり参加



新任医師の紹介



耳鼻咽喉科

川浦 僚 (かわうら りょう)

岐阜大学病院より赴任致しました、川浦と申します。私事ですが、この飛騨高山は医師としての初任地でもあり、耳鼻科医として再び勤務する機会を頂いたことに御縁を感じております。至らぬ点多々ございますが、初心を忘れず日々より良い診療を目指していきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



産婦人科

坊本 佳優 (ぼうもと よしまさ)

岐阜大学医学部附属病院より参りました坊本と申します。
10月より高山勤務ですが、患者様の優しいお言葉やお心遣いで日々寒さを感じることなく過ごしております。未熟者ではございますが、心温まる診療を行えるよう精進したいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い致します。



脳神経外科

西脇 崇裕貴 (にしわき たかゆき)

10月より高山赤十字病院に赴任させていただくこととなりました。当院での2年間の研修を終え、半年ぶりに戻ってきた形になりますが、育てていただいたこの病院で、再び勤務できることをうれしく思います。恩返しというにはまだまだ若輩ものですが、すこしでも飛騨の医療の貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。



内科(内分泌)

堀谷 幸宏 (ほりや ゆきひろ)

はじめまして、10月より岐阜大学病院から赴任しました。医師3年目の堀谷幸宏と申します。まだまだ勉強中の身ですが、この高山で少しでも皆様のお役に立てるよう内分泌内科チームの一員として精一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いします。



歯科口腔外科研修医 **波多野 貴一** (はたの きいち)

10月より歯科研修医としてお世話になっております波多野貴一です。高山は初めての土地であり診療でもまだまだ未熟でわからないことばかりですが、前向き思考で頑張りたいと考えています。多くのことを学び、お役に立てるように精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

退任医師

産婦人科医師

小池 大我 9月30日付

脳神経外科医師 庄田 健二 9月30日付

歯科口腔外科研修医

北村 優 9月30日付

産婦人科病棟における薬剤師の活動

薬剤師 都築 知代

当院産婦人科病棟では、出産後の母親を対象に、退院後の生活や育児について、助産師が集団指導を行っています。この7月より、集団指導に薬剤師も加わり、普段あまり知る機会がない産後の薬に関する知識をお伝えしています。内容は、①産後、当院で処方される薬について、②授乳婦の薬剤服用について、③赤ちゃんの予防接種についてです。②に関しては、授乳中でも母親が服用できる薬の数は多く、症状を我慢せず気軽に医療機関に相談していただくと良いことや、薬を飲んでいるからといって必ずしも授乳を中止する必要はないことをお話ししています。③に関しては、生後の予防接種に対して意識を高めてもらうために、予防接種の大切さや接種開始時期、ワクチンの安全性などをお話ししています。また、各項目について、質問・相談にも応じています。

当院では母乳育児を推奨しており、薬剤師としても、授乳中の薬に関する正しい知識を、母親や医療スタッフ間に周知し、サポートしていきたいと考えています。今回の試みはまだ始動して間もないですが、今後、多くの母親と関わっていく中で経験を積み、病棟スタッフと協力しながら指導内容を充実させていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



編集後記

はじめまして平成28年4月より、地域連携課に配属となりました松野と申します。日頃から地域連携にご協力いただきありがとうございます。地域医療構想の中で、地域連携は重要な位置づけになってきております。当院でも2月の稼働を目標に、地域連携医療ITシステム稼働に向け取り組んでおります。

また、初診受診予約やがん連携パス、オープンベットの活用などの連携がスムーズに行うことができ、患者様を地域全体で支えていけるよう、地域連携強化に努めてまいります。

今後ともご指導ご鞭撻賜りたく、お願い申し上げます。

地域連携課 松野 幸子



日本赤十字社

高山赤十字病院
地域連携課

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

〒506-8550 岐阜県高山市天満町3丁目11番地
TEL : 0577-35-1880 FAX : 0577-32-1165
メールアドレス byoshin@takayama.jrc.or.jp
ホームページ <http://www.takayama.jrc.or.jp/>